者からは、熱心な質問が数多

く出されました。

を打ち出しています。軍事

(関連記事6面)

なか、国内での供給網の確立 が急務となっています。参加

た木材不足・高騰問題が続く ウッドショックを始めとし

地摩

を産

見 材

学の

騰や資材高騰

明らかなよう

や消費税増税で 対策は医療崩壊

に、国民の命と

に対する市民

影響で、その

ナ侵略戦争の 禍にウクライ に及ぶコロナ

矛盾が露わに

の仕事や暮ら

参院選

しくなってい

しは本当に苦

も、常に政府の

障・社会保障で

http://www.tokyo-doken.or.jp/

り、長きにわ

たり格差と貧

中、2年以上

ん

東京都新宿区北新宿1-8-16 東京土建一般労働組合 電話03(5332)3971(代表)

FAX 03 (5332) 3972 発行人・編集人 吉川 豊

中村委員長

(年間購読料 千八百円) 印刷部数11万600部 かに含まれています) 、購読料は組合費のな

五十円 まりました(6/22公示、

挙は私たちの仕事と暮ら めの投票を呼びかけます。 事な選挙です。この紙上に んに私たちの要求実現のた し、そして命にかかわる大 周知の通

は平和は築けません。

命にかかわ 政治のあり方を を立ち上げ、組 を確認し、「選 めています。コ と大衆行動を進 求実現アクショ 織を上げて学習 挙に行こう!要 求」(4面参照) ン」(®面参照)

えず、組合内でも生活や仕 **法9条をはじめとする改正** す。さらにウクライナ情勢 事での相談が相次いでいま の対策は十分なものとは言 や零細業者・労働者への国 生活は後回しです。政権の の仲間に声を掛け合い、私 ち国民が決めることです の国の政治のあり方は私た かありません。何より、こ 政策は選挙で変えていくし たちの要求を実現するため に参院選での投票行動を広

いよいよ参議院選挙が始 はコロナやウクライナ情勢 /増強より、いま必要なの

れました。コロナ禍2年の経験を生かして、来場者を迎えた組合員たち。

2022年前半の第4回住宅デーが5月後半から6月にかけて、各支部で取り組ま

す活動の再開に、内外から喜びの声が寄せられました。

(関連記事3面)

地域に根差

府中国立・ い ち ょ う

う

/10投開票)。今回の選 るべきです。軍事対軍事で 暮らしを第一に掲げた「東 選挙に向けた仕事と平和と 活と仕事支援にお金をかけ 私たちは5月に、参議院 京土建9つの要

ロナ禍や安全保 ながりを強化しようというこ とで、府中市と国立市のほぼ 組むにあたって、地域とのつ となる今回の住宅デーを取り コロナ禍の影響で3年ぶり

会の後援もいただいているこ すべての小学校を分会役員が となどを訴え、子どもたちへ 中心となって訪問。教育委員

では、チラシをもってきた人 のチラシ配布を依頼。その効 いました。 ラシを見て来た」という来場 果もあってか、各会場では「チ 者が目立ちました。日吉分会 にはお菓子をプレゼントして

5会場、6月12日に2会場で

府中国立支部は6月5日に

第45回住宅デーを開催しまし

から来ていたという親子連れ の音が響いていました。9時 われたいちょう分会の住宅デ に話をうかがうと、今年近所 6月12日、府中公園で行な 会場では、朝からトンカチ

橋

舟渡高島

小学校へのお知らせ徹底 、来場750-

きれない様子で、始まるのを 待っていました。 学校で配られたチラシを見て 来たとのこと。楽しみで待ち に引っ越してきたばかりで、

> 時間配分の るイスの土 感染対策と た5会場の 工教室で作 面からも木 に開催され 反省会で、

受付には行列が

でにビスは取付済み。一人15 方が良いとの意見があり、 台部分のビス留めは省略した 分くらいでできるよう工夫が 心配されていた天気も暑い す 戸建て)の相談が1件でした。 参加者は43人、来場者は75 島分会長もニッコリ。当日の くら 0人、住宅相談は解体工事(一 行ないが良かったから」と松 いの快晴。「私の日頃の

う。今の大人が逃げ切りを

争点になってもいいのだろ

策、地球環境対策が大きな

むけて、この異常気象の対 ■本来なら、参議院選挙に 開始以降、最速で明けた。

の意見取りる



作ったイスの座り心地を確認

仲間が参加しました。 デーを開催し、20人を超える 島分会は徳丸ケ原公園で住宅 会場には住宅相談、包丁研

「家を作っている」と言って

ッパに接着剤をつけていまし

ていました。

冷静に判断したい。

6月12日、板橋支部舟渡高 小学2年生の男子3人組は

木工遊びコーナーに訪れた

木工、 バザーも 包丁研ぎの他、 やってきます。 来園者が次々と この公園の一角 ザーのコーナー 性の会によるバ ッパトイ)、女 を設けました。

り、親子連れの も動物園があ 触れ合えるこど ルモットなどと ジ、ポニー、モ にはヤギ、ヒツ

コーナーを設けられない れて実施しています。飲 は分会で実行委員会を開 しぼって実施しました。 昨秋は住宅相談と包丁研 集客がいま一つよくな 若い人たちの意見も取

ぎ、木工遊び(コ 女性たちでにぎわっていまし には洋服や食器、アクセサ などが並べられ、年配の 初めての木工遊びだとの また、バザーのコーナ

年々変わっていくものだと思 いのが残念です。住宅デーは で、多くの仲間の意見を 」と小野寺浩之分会長は へれてすすめていきたい 費やして生活が回るのか。 投資すべきお金を軍事費に

梅雨は、1951年の観測 年、15年前の夏とは明らか 雷の激しさも。とにかく10 路の冠水も怖い。そして、 が現実のものとなってい ていけない。熱中症の恐怖 ただけに、その落差につい る。また、近年は突然の大 に違う。関東甲信の今年の 雨による災害、運転中の道 多いと思ってい 異常な暑さだ。 より涼しい日が 少し前まで例年 7月を前に、

が、外交・安全保障だろう。 ■ そして、 もう一つの争点 示が必要だ。 代の、投票を通じた意思表 れる。未来を生きる若い世 今の暮らしのあり方が問わ 環境に負荷をかけながら、 ない。原発の是非もあるが、 は、持続可能な社会は望め 図るような政治や経済で

必要以上の消費を繰り返す

で、2度の大戦を経て世界 まっていいのか。また、イ 向に、時計の針を戻してし 純に「力には力」という方 気分が醸成されている。単 らどうする」という空気・ 性はともかく「攻められた れた。日本においても現実 が積み上げてきた秩序が崩 ロシアのウクライナ侵攻 ンフラや教育、医療などに